

オートフォーカスアイウェア

ViXion2 PRO

< ヴィクシオンツー プロ >



取扱説明書

安全上の注意

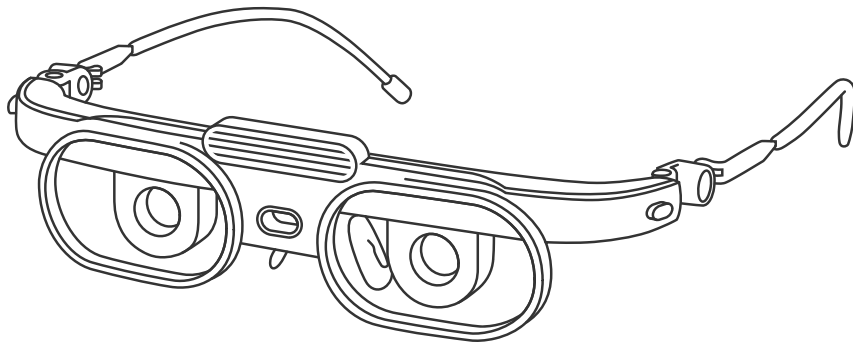
禁 止 事 項

- ViXion2 Proをかけた状態で車や自転車等の運転はしないでください。
- 早い動作をする時やスポーツ等では使用しないでください。
- 本体は防水ではありません。水をかけたり、水の中に入れたりしないでください。（防滴：IPX3）
- 眼鏡の超音波洗浄機で洗浄しないでください。
- 50℃以上の高温環境でのご使用・保管はお控えください。
- 充電中は使用しないでください。思わぬ事故や怪我につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしたり、強い衝撃を与えたりしないでください。感電や故障につながる恐れがあります。
- 乳幼児の手の届くところに放置しないでください。

注 意 事 項

- 充電には付属のケーブル（USB Type-C）をご使用ください。
- 本製品に異常を感じた時は、直ちに顔から外してください。
- 使用中気分が悪くなった場合には直ちに使用を中止してください。
- 本製品は医療機器ではありません。

同梱物



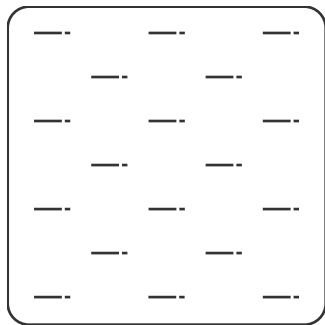
ViXion2 Pro 本体・アウターフレーム



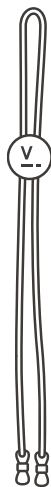
専用ケース



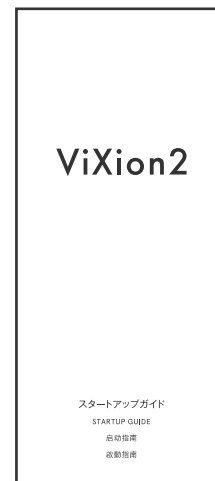
充電用
USB Type-C
ケーブル



レンズクロス



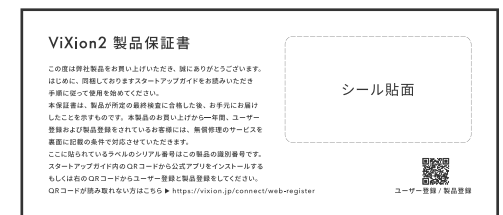
フレーム
バンド



スタートアップ
ガイド

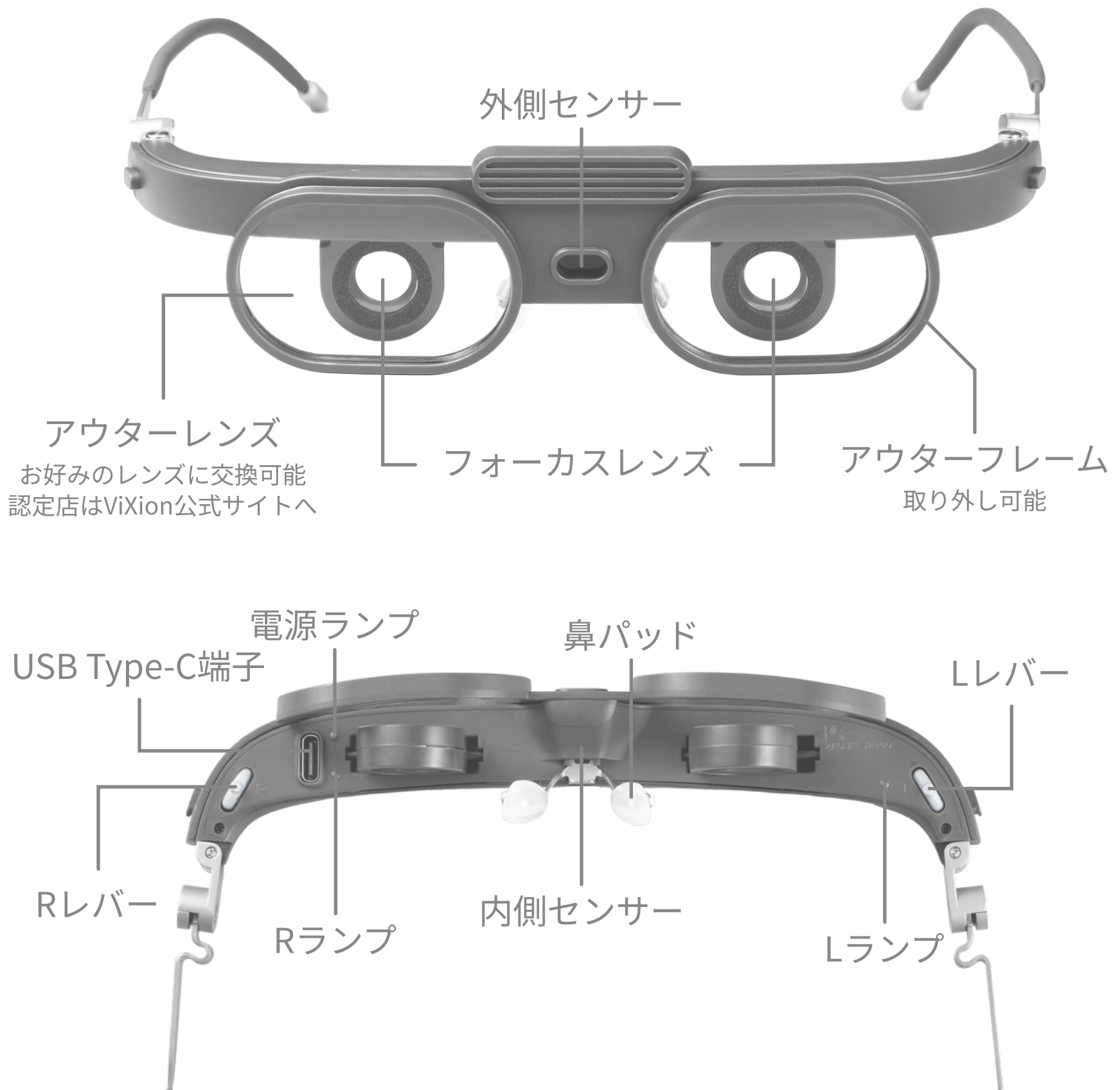


交換用
鼻パッド



製品保証書

各部の名称



各部の機能

Lレバー … 左フォーカスレンズの度数調整、ミュートモード切替、電源制御に使用

Rレバー … 右フォーカスレンズの度数調整、フォーカスモード切替に使用

Lランプ … Bluetooth状態、ミュートモード状態を表示

Rランプ … フォーカスモードを表示

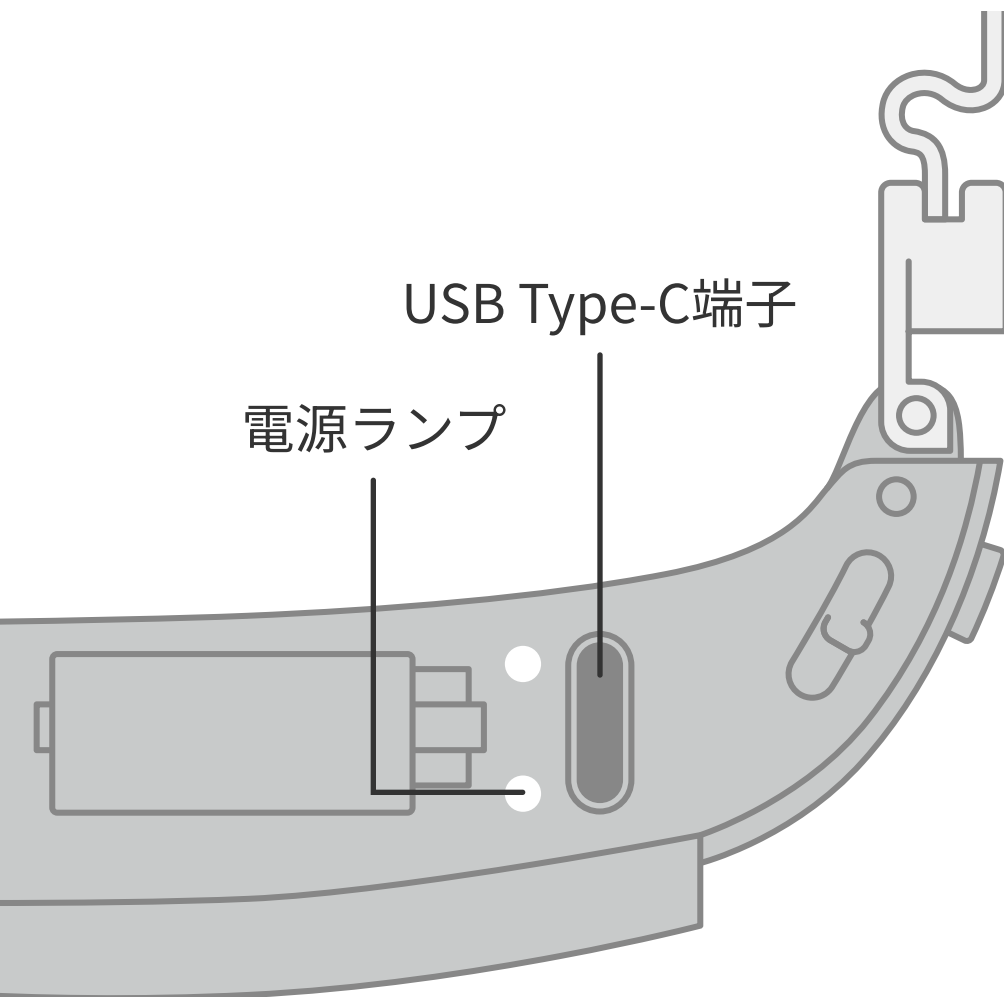
電源ランプ … バッテリー残量と充電状態を表示

内側センサー … 装着検知と自動電源制御に使用。ディープスリープモード(※後述)時に閾値が自動調整されます。

外側センサー … オートフォーカス機能に使用

USB Type-C端子 … 充電用

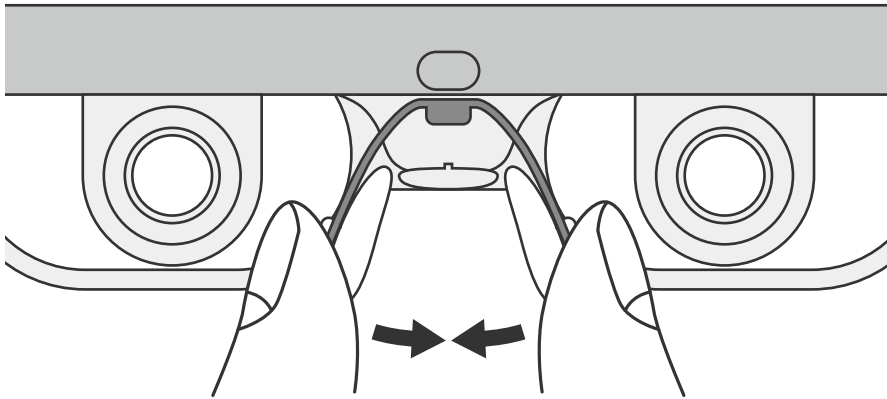
充電



本体の充電端子（A）に付属品のUSB Type-Cケーブルをさし、電源ランプが青に点灯したら充電完了です。

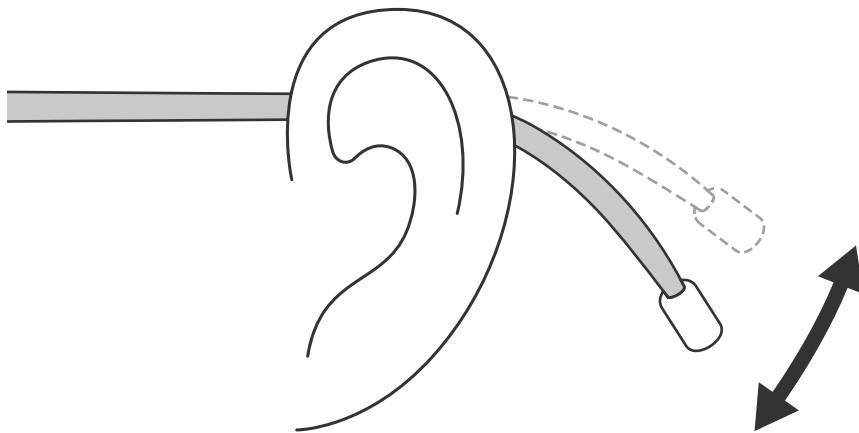
残量	使用中	充電中
 100%	緑点灯	青点灯
 51 - 99%	緑点灯	緑点滅
 21 - 50%	燈点灯	燈点滅
 0 - 20%	燈点滅 (高速)	燈点滅

ご使用の準備



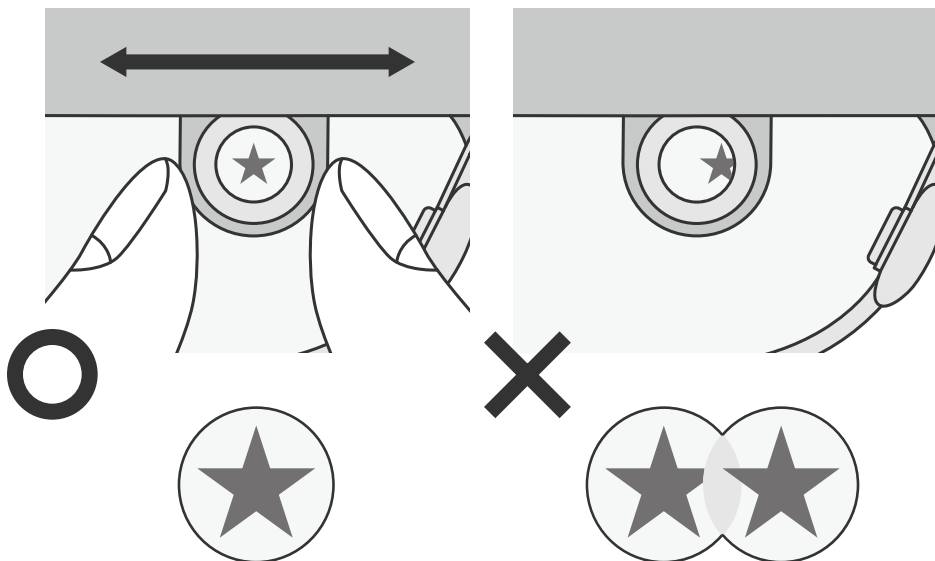
①

かけ心地に合わせて鼻パッドを前後・左右に優しく折り曲げ、幅を調整してください。



②

耳の形に合うよう、つるを少しずつ曲げてください。形状記憶性能を損なう恐れがあるため過度に折り曲げないようにご注意ください。



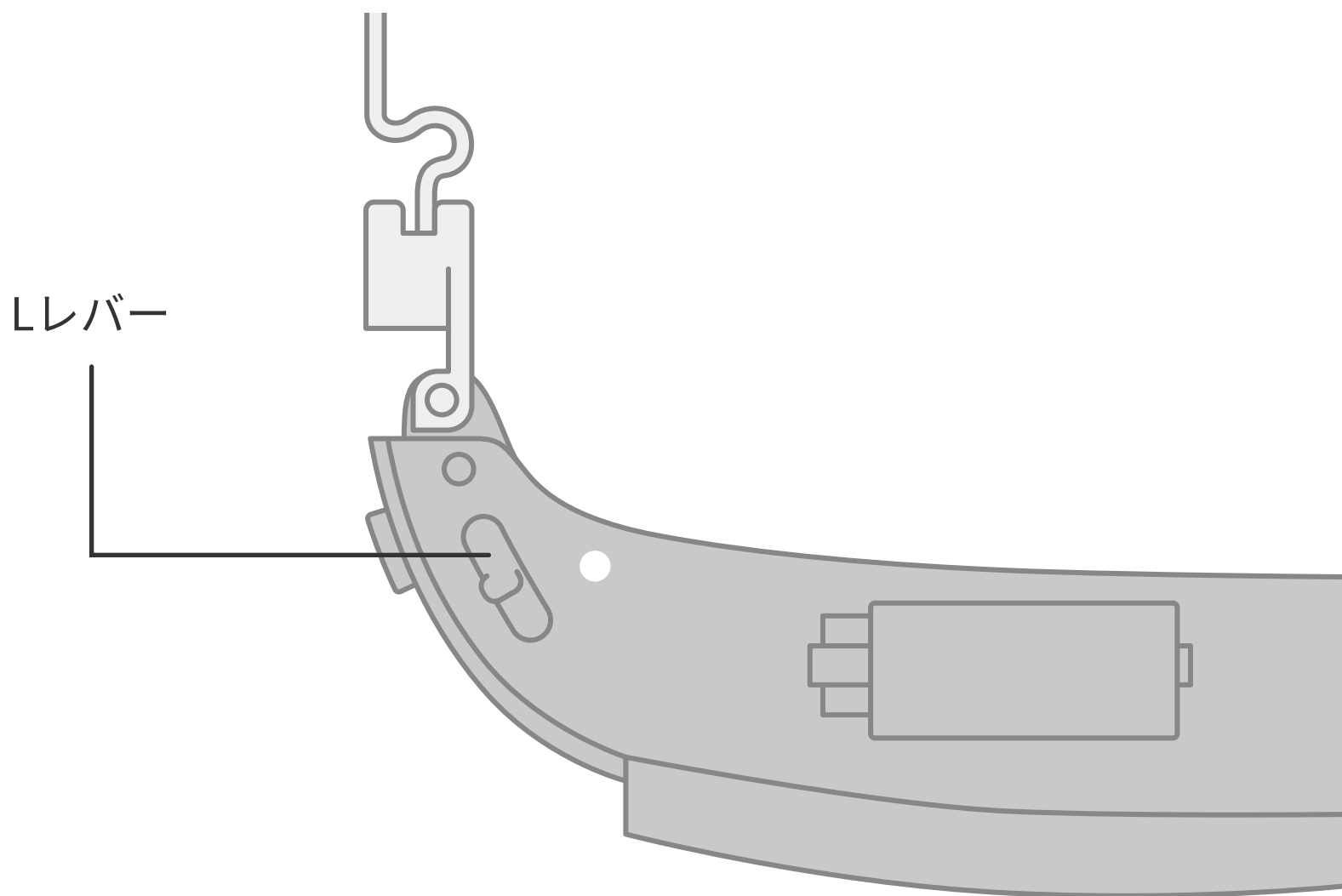
③

ViXion2 Proを装着し、片目を閉じます。1mほど離れた目標物を見ながらフォーカスレンズを左右にスライドし、黒い枠の中心に目標物が見えるようにしてください。もう片方のレンズも同様に調整してください。左図のように両目の視野の円が一つに重なって見えたら位置調整は完了です。

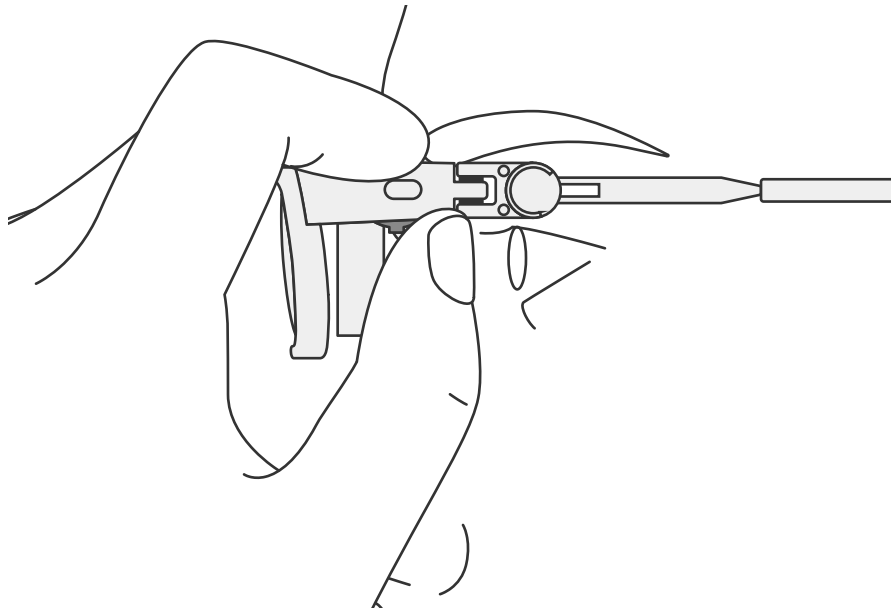
電源のON/OFF

電源ON … ViXion2 Proを装着するか、Lレバーを垂直に押し込む

電源OFF … 製品を顔から外した状態で5秒静置させる。



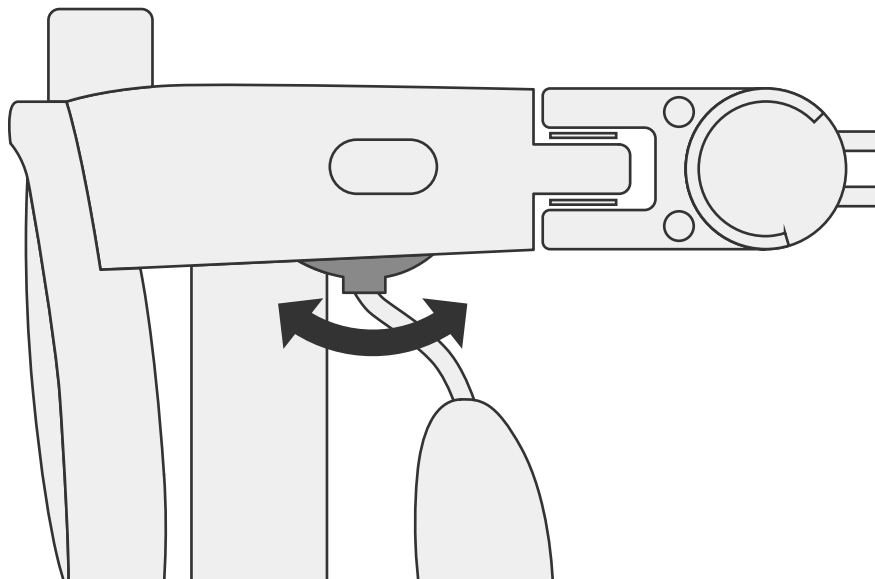
度数の調整



片方の目を閉じて、開いている方の目で1mほど離れた目標物を見てください。視界がはっきり合うところまでレンズを前後どちらかの方向に倒し続けてください。レバーを動かしている間は通知音が鳴ります。

同様の調整を反対の目でも行くと、度数の調節は完了です。

レバーを離すとオートフォーカスモードになり、設定が記憶されるので次回以降は設定は不要です。



モードについて

マニュアルモード

オートフォーカス機能をオフにし、焦点距離を固定するモードです。

Rレバーを1秒間垂直に押し込むことで、オートフォーカスモードとマニュアルモードを切り替えることができます。マニュアルモードになっている場合のみ、Rランプが水色に点灯します。

次のような場合に有効です。

対象物が極端に小さく、焦点距離が合わない場合

ガラス越しに何かを見る際、ガラスに焦点が合ってしまい対象物が見えにくい場合

ミュートモード

ViXion2 Pro本体の起動音や操作音がオフになるモードです。

Lレバーを1秒間垂直に押し込むことで、ミュートモードのON/OFFを切り替えることができます。ミュートモードになっている場合のみ、Lランプが緑に点灯します。

次のような場合に有効です。

センサーの影響でカバンに入れている際などで音が鳴ってしまうことを避けたい場合

ディープスリープモード

近接センサーがオフになり、近接センサーで電源が入らないようになるモードです。

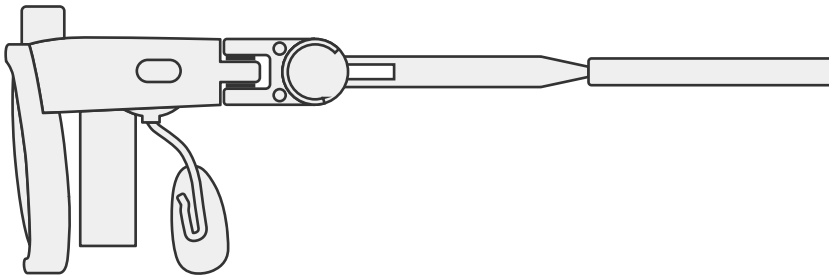
電源がONの状態、LレバーとRレバーを同時に垂直に3秒長押しし、Lランプが赤く点灯したタイミングでLレバーのみ離す（Rレバーは押し込んだまま）。Lレバーを垂直に押し込むか、USBケーブルで充電状態にすることでディープスリープモードを解除することができます。

次のような場合に有効です。

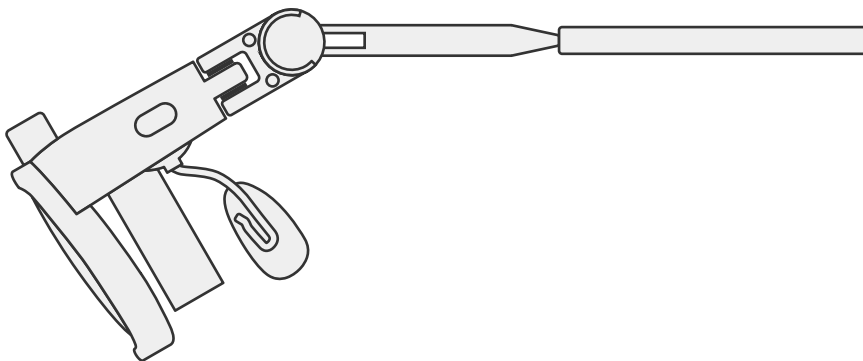
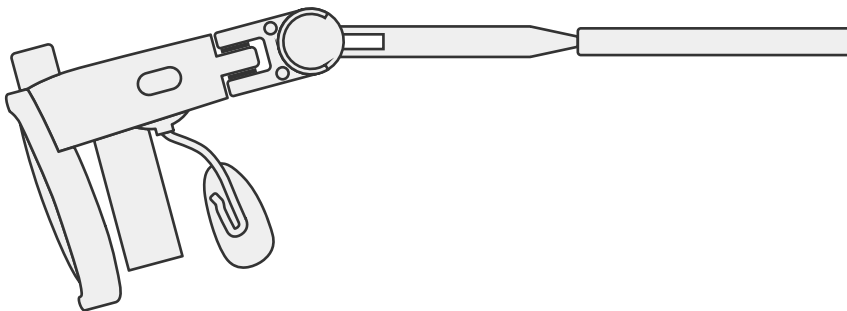
しばらく使用しない

電源が切れない、など近接センサーのトラブル対処の場合

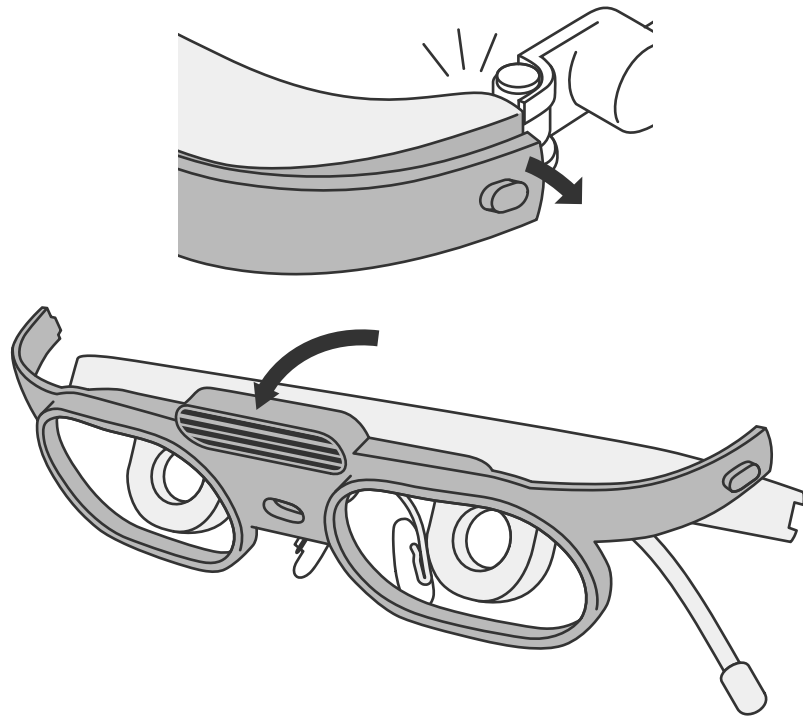
つるのチルト機構の調整



最大30°まで、つるのチルトパーツの角度を調整することができます。下方を長時間見る場合などで首や肩への負担を軽減することができます。



アウターフレームの着脱方法



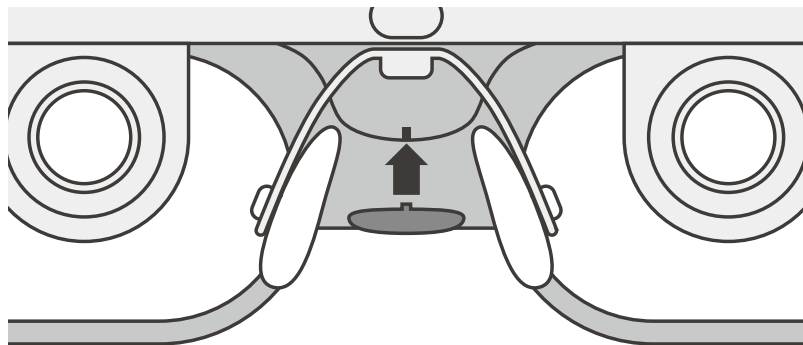
取りはずし方

①

つるをたたんだ状態でアウターフレームの端を指でつまみ、本体から離します。反対側も同様にはずしてください。

②

左図のようにアウターフレームを下に向かって傾けると簡単に取りはずすことができます。



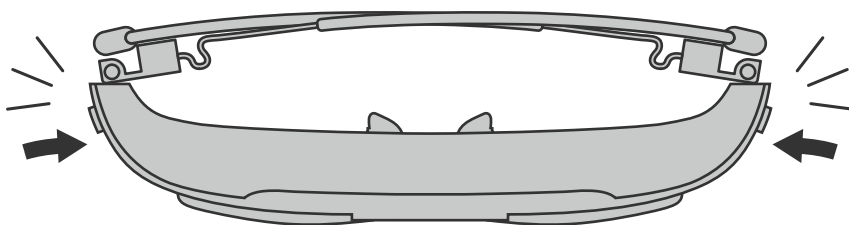
取り付け方

①

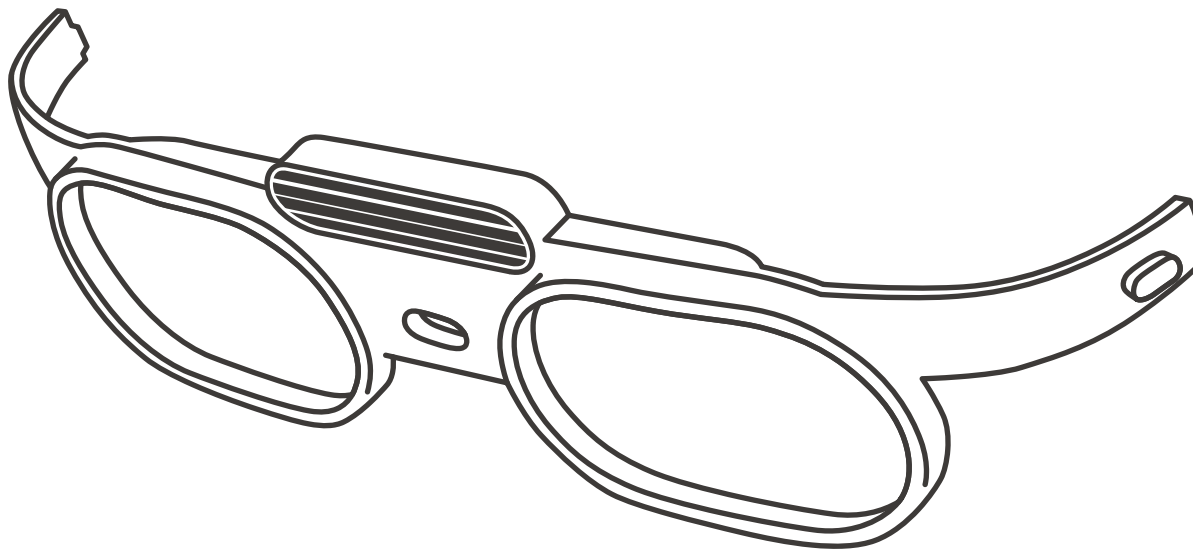
鼻パッド下の凹みにアウターフレームの突起を合わせて中心を揃えたら、まっすぐ押し込んでください。

②

アウターフレームの端部をカチッと音が鳴るまで本体に押し込んでください。



アウターレンズについて



ViXion2 Proに装着されているアウターフレームには度なしのクリアレンズが付属しています。

このクリアレンズは反射防止処理がされていますが、通常の眼鏡レンズのようなキズ防止と汚れ防止の処理はされておられません。そのため溶剤では表面がおかされやすく、傷がつきやすいレンズです。

汚れた場合には、から拭きを避け、ぬるま湯などで軽く湿らせた専用のレンズクロスで軽い力で拭いて下さい。

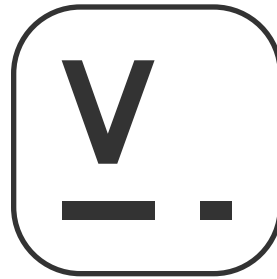
流水ですすぐ場合には、必ず本体から外した状態ですすいでいただき、水分が乾かないうちに乾いたクロス等で水分を拭きとって下さい。

交換用鼻パッドについて

交換用の別の形状の鼻パッドが同梱されています。

鼻パッドは力を込めてまっすぐ抜き、交換用鼻パッドも力を込めてまっすぐ挿してください。

アプリについて



ViXion connect

アプリのダウンロードは
こちらから！



専用スマートフォンアプリ「ViXion Connect」をインストールし、ViXion2 ProをBluetooth®接続することで初期設定やより詳細な製品カスタマイズが簡単に行えます。

2026年4月現在、ViXion Connectは日本国内にてご利用いただけます。

よくある質問

●フォーカスレンズの黒い枠が気になる

ご自身の目の幅、対象物との距離に合わせて、フォーカスレンズ同士の幅を調整することで見え方が改善する場合がございます。フォーカスレンズは直接スライドさせることが可能です。

●まつ毛が当たる、まぶたが当たる、視野が狭く感じるなど

鼻パッドの形状を調整し、フォーカスレンズと目との距離を調整することで、装着感が改善する場合がございます。鼻パッドは形状記憶素材を使用しており、自在に形状を変えることが可能です。また、付属の交換用鼻パッドに交換することで、装着感を変えることも可能です。

●製品がずり落ちてしまう

つるの形状を調整することで、フィット感を向上させられます。つるは形状記憶素材を使用しており、自在に形状を変えることが可能です。

●製品が重く感じる

アウターフレームを外すことで、55g→44gと20%軽量化することが可能です。アウターフレームをお使いでない場合は、アウターフレームを外すことをご検討ください。

●近くと遠くでどちらかに合わせるとどちらかがぼやけてしまう

1m程度の距離で度数を調整することで、近くも遠くもピントが合いやすくなります。

それでも合いにくい場合は、公式アプリ【ViXion Connect】の「高度な調整機能」を使用することで、細かい調整が可能です。

●設定を一度リセットしたい

電源が入っていない状態でLレバー、Rレバーを同時に垂直に5秒間長押しし、電源ランプが赤く点灯したタイミングでRレバーのみを離す（Lレバーは押し込んだまま）ことで、工場出荷状態にリセットすることが可能です。電源が入っている状態では、Lレバー、Rレバーを同時に垂直に15秒間長押しし、電源ランプが赤く点灯したタイミングでRレバーのみを離す（Lレバーは押し込んだまま）ことでも、工場出荷状態にリセットすることが可能です。

困ったときは

●電源が入らない

右の操作のいずれかをお試しください。

製品を顔に
装着する

Lレバーを
垂直に押し込む

USBケーブルを
差し込み充電する

●電源が切れない

製品を顔から外した状態で、5秒間静置させてください。それでも電源が切れない場合は、近接センサーの誤作動が起きている可能性があります。一度ディープスリープモードにさせていただき、再度起動してください。

●アプリのBluetooth接続がうまくいかない

アプリの案内に従って操作してください。USBケーブルで充電しながら接続を行ってください。

●バッテリーがすぐ減ってしまう

近接センサーの誤作動が起きている可能性があります。一度ディープスリープモードにさせていただき、再度起動してください。近接センサー部分にレンズクロスやケーブルなどがあると、電源がONになります。ケースにしまう際などはレンズクロスやケーブルが近接センサー部分に当たらないようにしてください。

●レバーを操作してもフォーカスレンズの度数が変わらない

以下の手順で工場出荷状態へリセットしてください。

電源が入っていない状態でLレバー、Rレバーを同時に垂直に5秒間長押しし、電源ランプが赤く点灯したタイミングでRレバーのみを離す（Lレバーは押し込んだまま）ことで、工場出荷状態にリセットすることが可能です



電源が入っている状態では、Lレバー、Rレバーを同時に垂直に15秒間長押しし、電源ランプが赤く点灯したタイミングでRレバーのみを離す（Lレバーは押し込んだまま）ことで、工場出荷状態にリセットすることが可能です

上記手順でも解決しない場合は、右のQRコード、もしくは以下のURLからアクセスできる問い合わせページでお問い合わせください。
<https://vixion.jp/contact>



製品仕様

製品名	ViXion2 Pro（ヴィクシオンツー プロ）
サイズ（約）	W165×D175×H37 mm
重量	アウターフレーム無し：44g／アウターフレーム含む：55g
瞳孔間距離	53.5mm～75mm
焦点距離	5cm～無限遠
定格電圧／電流	5V／1A
充電時間／連続動作時間	約3時間／約15時間※使用環境や使用状況によります。
充電方式	USB Type-C
接続	Bluetooth®